

一般質問者一覧表（第4回市議会定例会
令和4年12月1日、2日開議）

質問日	令和4年12月1日（木）		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	市民クラブ	議席番号	11	氏名	岩田 邦泰
表題	質問内容						答弁者の職名
1 カarbonニュートラルの推進について	<p>全世界的な要請により進めているカーボンニュートラルは、推進事業本部の立ち上げなど本市は比較的先進的に取り組んでいる。しかしながら、私たちの期待する「司令塔」的な役割が果たされているのか疑問が残る。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 庁内各部署との連携施策の状況について伺う。</p> <p>(2) 早生桐を使ったバイオマスは、雇用や安全面で懸念のあるメガソーラーに代わる新たなエネルギー源ともなり、大きな炭素吸収力はカーボンクレジットによる収入源の期待もある。市内で実現すべきと思うが伺う。</p> <p>(3) ごみ減量を目標にした家庭ごみ有料化議論が行われる中、スタートアップ推進課の地域エネルギー開発事業では「ごみの炭化による原料化」が、岩手県久慈市では「ごみのエタノール化による原料化」の実験が行われている。本市として、これら技術をどう捉えているのか伺う。</p>						村上カーボンニュートラル推進事業本部長
2 官民連携プラットフォームの役割について	<p>本市のDX推進は他市の見本となる素晴らしいものであり、官民連携プラットフォームはその中核であるが、ここに参加していながらもその活用には部門ごとに濃淡があるように見受けられる。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 官民連携プラットフォームの存在意義・事業進捗の手応えについて総括的に伺う。</p> <p>(2) 学校教育部が構築する「いじめ対策のためのアンケートシステム」で、このプラットフォームを活用しなかった理由を伺う。</p> <p>(3) このプラットフォームから生まれた施策への予算重点化の可能性について、考えはあるのか伺う。</p>						内藤デジタル・スマートシティ推進部長 田中学校教育部長 石切山財務部長
3 庁内連携の在り方	<p>1、2の質問では特に庁内連携が重要で、司令塔であるべき部門へ状況を伺った。</p> <p>庁内連携には司令塔だけでなく、受け手の意識が重要であると考えますが、庁内連携の在り方について、市長の考えを伺う。</p>						鈴木市長
4 ごみ減量と自治会の関係について	<p>会派として家庭ごみ有料化議論は必要と考えるが、有料化は本来の目的であるごみ減量に対する議論を尽くし、施策を尽くした後に目指す減量値を超えられなければ、初めて有料化に進むべきである。その中では</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>ごみの分別を徹底することが重要となるが、分別推進による資源化への誘導のための施策として、福岡市や名古屋市では戸別収集が実施されている。また、この課題へは、ごみ集積所を自治会が管理している現状に鑑みれば、環境部だけでなく市民部なども広く巻き込んで行うべきである。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 戸別収集におけるごみ減量の効果と費用、実施に向けた課題などはどうか伺う。</p> <p>(2) 家庭ごみ有料化の説明会では多くの自治会関係者の出席があった。市政のパートナーである自治会の労力削減などでは、ごみの問題は避けて通れないものと考えるが、考えを伺う。</p> <p>(3) ごみ減量と自治会活動は両輪で考えないといけないところに来ていると思う。加えて前述のカーボンニュートラルなども含めたプロジェクトチームなどがあるべきと思うが伺う。</p>	<p>藤田環境部長</p> <p>奥家市民部長</p> <p>藤田環境部長</p>
<p>5 公共の場所にあるピアノ活用について</p>	<p>音楽の都・浜松として既に市民の近くに存在するピアノについては、もっと活用されるべきものと感じている。公共の場に存在するピアノといえば、学校・協働センターあたりがまず思いつく。それらのピアノをうまく活用することができれば、本市は本当の「音楽の都」にまた一步近づくと考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 学校に設置されているピアノの利用状況について、また、調律や修繕の状況、住民の利用可否について伺う。</p> <p>(2) 協働センターに設置されているピアノの利用状況について、また、調律や修繕の状況、住民の利用可否について伺う。</p> <p>(3) 創造都市文化振興分野において、活用施策の検討ができないか伺う。</p>	<p>田中学校教育部長</p> <p>奥家市民部長</p> <p>嶋野文化振興担当部長</p>
<p>6 文化・スポーツ施設と予約システム「まつぼっくり」について</p>	<p>先般の決算審査では、サーラ音楽ホールに関する浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」へのマスタ登録費用が思いのほか高額であり、利用状況も含めて指摘があった。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) マスタ登録が安価に済み、かつ市の他システムでは既に達成している「支払いやキャンセルまで含めた仕組み」とするべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) まつぼっくりを学校体育館などの施設利用にも利用範囲を広げるべきと考えるがいかがか伺う。</p> <p>(3) サーラ音楽ホールの周辺道路は、多数の客が見込まれる演者のコンサート時の交通渋滞がひどかった。駐車場内導線の改善も含め、整備が必要ではないかと考えるが伺う。</p>	<p>内藤デジタル・スマートシティ推進部長</p> <p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
7 就学時健康診断の案内について	<p>10月7日、ある家庭に来年新1年生になる子供の保護者向けとして就学時健康診断の案内が届いた。しかし進学予定校の日程は1週間後。既に仕事のシフトが決まっているのに調整しないといけない。どうしたらよいかという相談があった。教育委員会に伺ったところ、作成した「学齢簿」を基に案内するとのことだった。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 学齢簿の作成時期はいつか。また何のデータから作成されるのか伺う。</p> <p>(2) 7月頃に就学時健康診断の日程を事前告知しているとのことだが、告知が保護者に届いていたのか。子育て情報サイト「ぴっぴ」やSNSなどを通して、広く告知するようなアイデアはなかったのか伺う。</p>	田中学校教育部長
8 公用車事故の和解状況などについて	<p>浜北区の交通事故処理において、生垣を修繕した業者に対し、示談までの1年半もの間、事業者には何ら瑕疵が無いにもかかわらず修繕費の支払いをしなかった事例があった。そこで以下伺う。</p> <p>(1) このような事例が他にもなかったのか伺う。</p> <p>(2) 再発防止はどのように考えているのか伺う。</p>	石切山財務部長
9 商品の軽自動車にかかる軽自動車税について	<p>昨年質問した「商品軽自動車」にかかる自動車税減免については「調査・研究」との回答だった。その後の進捗について伺う。</p>	芳田税務担当部長
10 中小企業の現状把握について	<p>先日市内の中小企業に伺ったところ、コロナに加え、ロシアのウクライナ侵攻などの社会情勢の激変により、電気代に加えて、化学薬品などの原材料費も高騰の一途ということで、市内中小企業は大きなダメージを負っていると感じた。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市の中小企業の業況は、通常どのような方法で把握しているのか伺う。</p> <p>(2) ウクライナ侵攻の影響は今後さらなる悪化も予想される。この状況の中では、通常と異なる方法で業況の把握が必要と思うが、考えを伺う。</p>	藤野産業部長